

**今夏の電力不足問題に向け自主行動計画を策定  
店内照明・誘導看板のLED化、  
太陽光パネル・スマートセンサー設置等により約25%削減**

～ セブン-イレブンはさらなる節電対応を強化してまいります ～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者(COO)：井阪 隆一）は、今夏、東京電力管内で深刻な電力不足が懸念されている問題に対し、自主行動計画ならびに削減目標を策定いたしました。

「東日本大震災」発生以降、東京電力管内の店舗を中心に、店頭看板の消灯や日中の空調設備の休止等、節電に向けた対応をしておりますが、さらなる節電強化のため、5月から順次、店内照明・店頭誘導看板のLED化、太陽光パネルの設置、実証実験中のスマートセンサーの設置等、対象店舗における工事を進めるとともに、7月から9月にかけて空調やチルドケースの温度設定の見直し等の施策を展開することで、電気使用量で昨年夏季比約25%削減することを目標としてまいります。

記

**1.今夏の主な実施項目と削減目標（概算）**〔削減電力量と削減率は昨年7月～9月平均比〕

実施予定項目	削減電力量（1店舗あたり）	削減率
<b>設備の入替等</b> ◆店内照明のLED化（約5,000店舗） ◆店頭誘導看板のLED化（約5,000店舗） ◆太陽光パネルの設置（約1,000店舗） ◆旧型設備の省エネ化への入替（約2,000店舗）	約50Kwh/日	約10%
<b>標準的な節電対策</b> ◆店頭看板の消灯、チルドケース・空調の温度設定の見直し等（約6,000店舗）	約25Kwh/日	約5%
<b>スマートセンサーの設置</b> （約6,000店舗） （フィルター清掃徹底、入口ドアを開放しない等）	約50Kwh/日	約10%
<b>合計</b>	約125Kwh/日	約25%

※ スマートセンサー：セブン-イレブン・ジャパンは、産業技術総合研究所、東京大学、NECと連携し、店内機器の電力使用量を把握するセンサー（スマートセンサー）を活用した実証実験を、昨年夏より都内一部店舗で実施しております。これにより使用する「電気の見える化」が進み、設備の使用上における問題等を把握、是正することで、電気使用量を約1割削減できた実績がございます。

※ 東京電力管内セブン-イレブン1店舗の電気使用量/日：約480kwh（昨年7～9月平均）

※ セブン-イレブン店舗は、東京電力と“小口需要契約”を結んでおります。

## 2.対象店舗

実施項目毎に対象店舗数は異なります

(東京電力管内の約 6 千店舗を中心に一部東北電力管内の店舗も対象としております)。

## 3.スケジュール等

- ◆ 「設備の入替」「スマートセンサー」については、5 月より順次工事を開始
- ◆ 「標準的な節電対策」については、今夏（7 月～9 月）に対応

## 4.その他の施策 等

- ◆ 今夏の空調温度設定の見直し等に伴い、加盟店オーナー様や従業員様の働きやすい環境作りに向け、セブン-イレブンのユニフォームをポロシャツタイプに変更いたします。
- ◆ 「店内照明の LED 化」および「店頭誘導看板の LED 化」については、この夏までに約 5,000 店舗へ、「スマートセンサー」については約 6,000 店舗に導入いたしますが、その後も順次導入店舗の拡大を図ってまいります。

### ご参考

#### 【セブン-イレブン これまでの節電対応】 \* 東京電力管内の店舗中心に実施

- 3/13 (日) 店舗誘導看板 (サインポール)・事務所蛍光灯等を消灯、  
店内照明の調光設定の見直し
- 3/15 (火) 上記より節電効果を見込む、入口ドア上の看板 (店頭看板)  
を消灯※サインポールは点灯
- 3/18 (金) 店舗の状況に応じて原則、日中の空調設備を OFF にする  
※なお、各店舗のオーナー様のご判断で、  
日中の店内照明を OFF にしている店舗もございます。

上記の節電対応により、電気使用量を約 10%削減

#### 【平時におけるセブン-イレブンの節電対応】

< 店内照明 >

- ◆ 出力照明器具を採用することで、新店については従来 85 本の蛍光灯を 54 本に減らし、効率的な配列により省エネを図っています。
- ◆ 床にセラミックタイルを使用することで、相乗効果により照度を向上させ、商品を見やすく、買いやすくしております。
- ◆ 段調光照明 (設定された幾つかの明るさを切り替えることが出来る照明) を使用し、外光を利用して、照度を落としております。

以 上